

【意見聴取第 1 号】

旭川市都市計画マスタープランの 中間見直しについて



旭川市都市計画マスタープランの中間見直しについて



【計画の構成】

序章

改定の背景と目的、位置付け、計画区域と目標期間、旭川市の現況、都市整備の課題

第1章 全体構想

都市整備の目標・部門別の整備目標

将来都市構造

都市整備の基本方針・施策の方向

- ・土地利用
- ・都市交通整備
- ・都市環境整備
- ・都市防災

平成28年度計画改定時からの中間見直しであり、当時と考え方等の変化がないか確認する

第2章 地域別構想

中央・北東・東・南・西・北地域

- ・地域の特性
- ・地域づくりの目標
- ・地域づくりの基本方針（土地利用、都市交通整備、都市環境整備、都市防災）

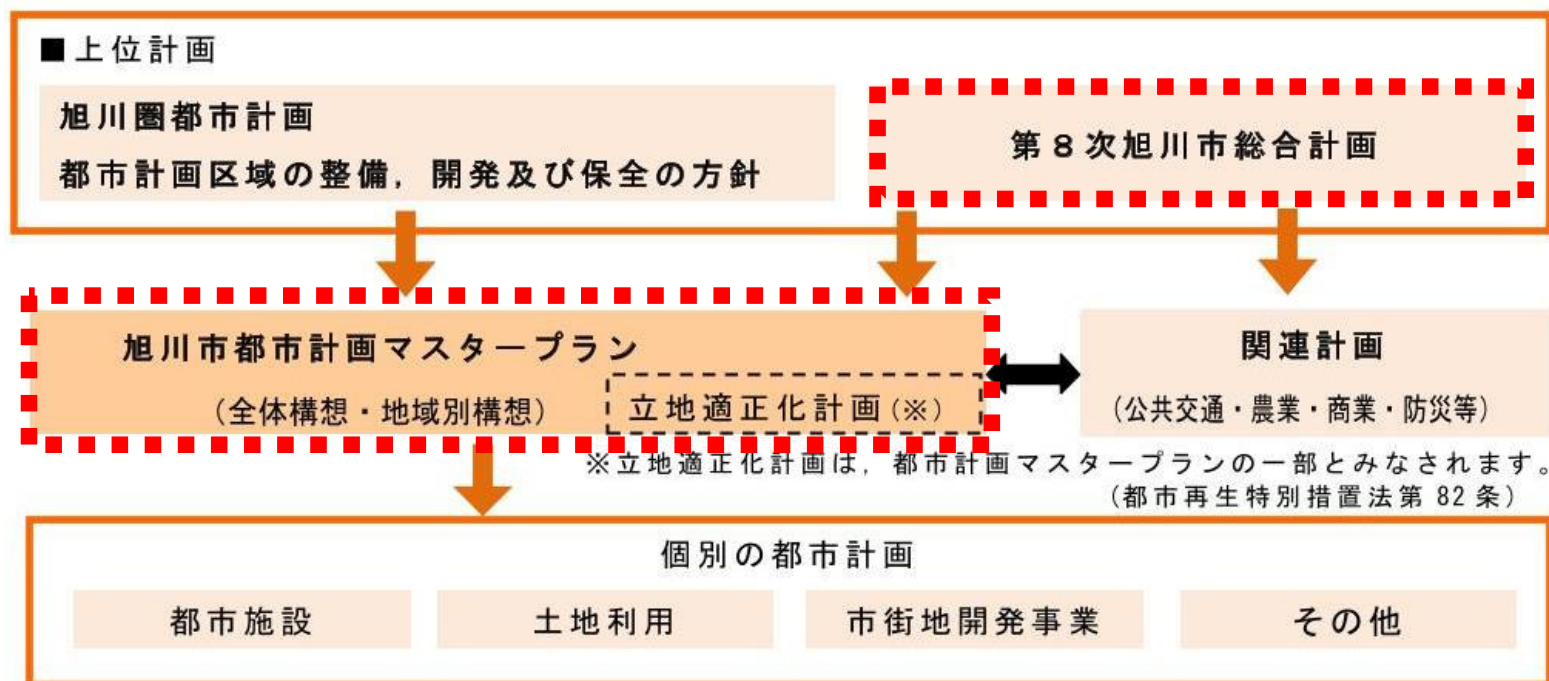
旭川市都市計画マスタープランの中間見直しについて



【都市計画マスタープラン改定の基本的な考え方】

第8次旭川市総合計画に則する4つの「改定の基本的な考え方」

- ① 「コンパクト化」と「ネットワーク化」の推進
- ② 経済活動の活性化につながる基盤づくり
- ③ 「造る」から「保全**再構築**・活用」への転換
- ④ 安全で豊かなライフスタイル実現への取組



旭川市都市計画マスタープランの中間見直しについて



【見直しを行う要因】

現況と推計を基にした都市構造の問題点（平成28年改定時）

○人口・世帯

- ・人口密度の低い地域での中心市街地、地域商業地等の生活サービス機能の減少
- ・中心市街地、地域商業地の従業員人口の減少
- ・農業従事者、農業就業者の減少による農地の荒廃化

○土地・建物利用

- ・中心市街地や地域商業地における土地利用率の低下
- ・地域商業地の衰退
- ・空き家・老朽化建築物の増加
- ・農地の荒廃化

令和5年改定の総合計画において、都市の考え方に大きな変化はない

○都市交通

- ・公共交通機関の利用の低下
- ・公共交通空白地域への対応

○防災・防犯

- ・災害危険性の多い地域の土地利用による被災の恐れ
- ・空き家・老朽化建築物の増加に伴う荒廃化や治安悪化

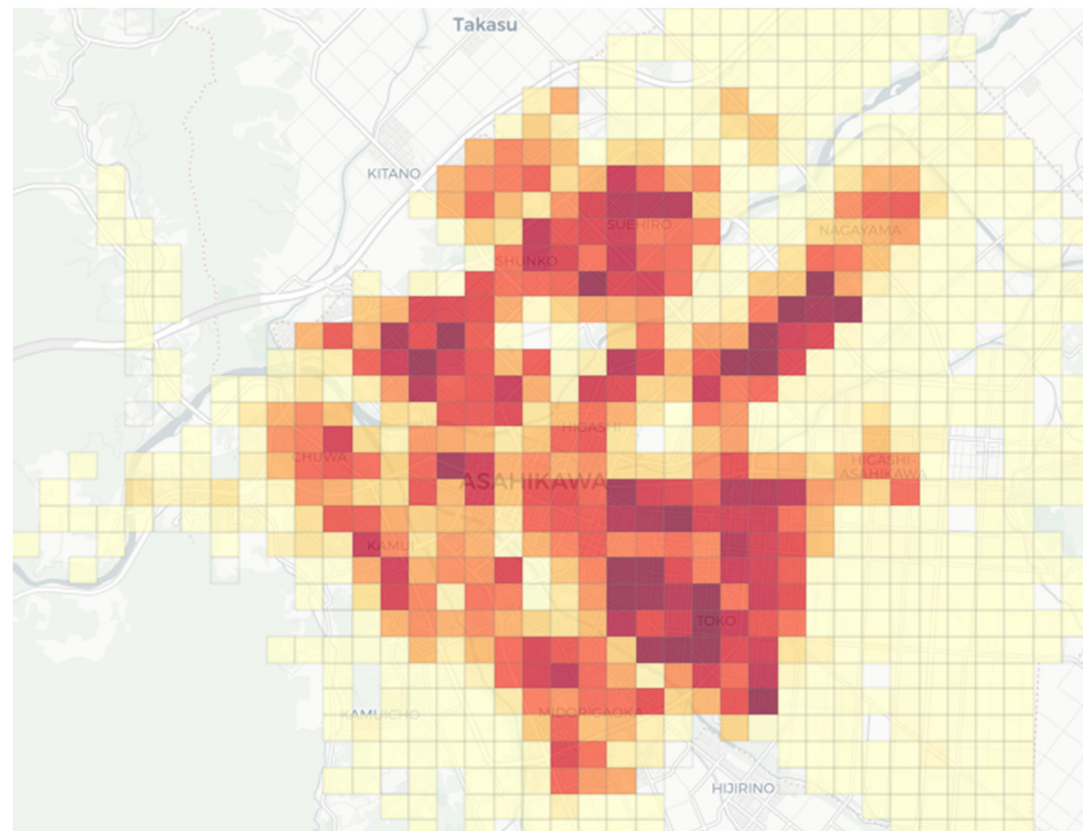
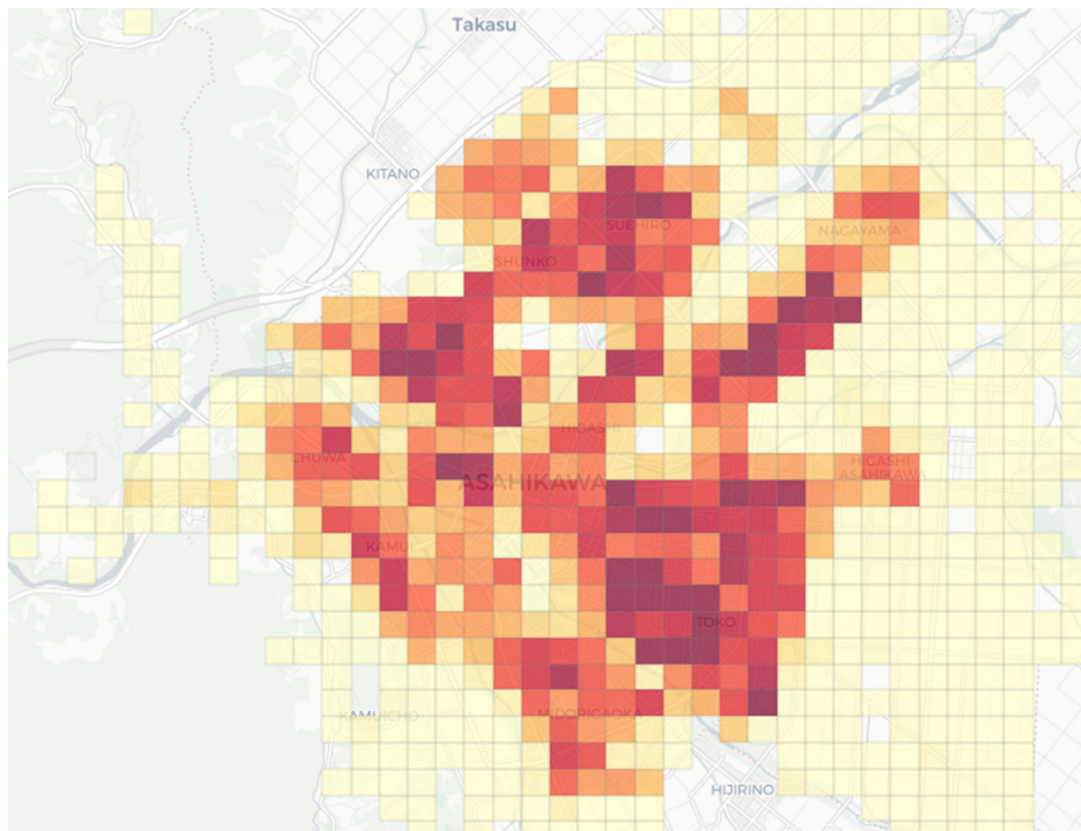
旭川市都市計画マスタープランの中間見直しについて



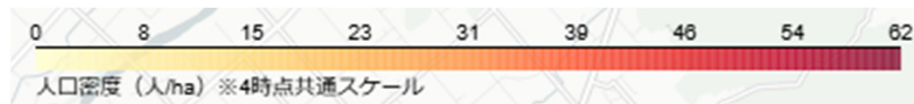
【人口の確認（現況値）】

平成27年 国勢調査
総人口：339,605人

令和2年 国勢調査
総人口：329,306人



※令和7年 国勢調査（速報値）
総人口：305,701人



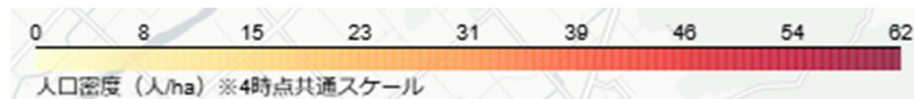
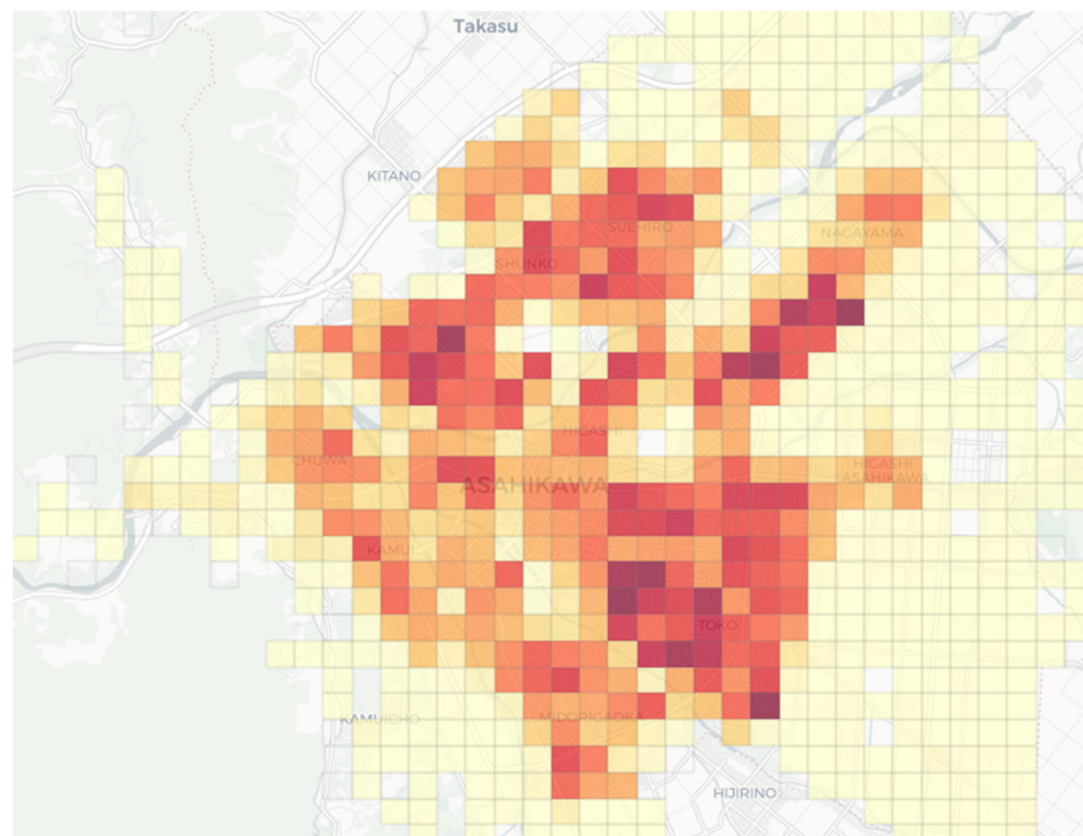
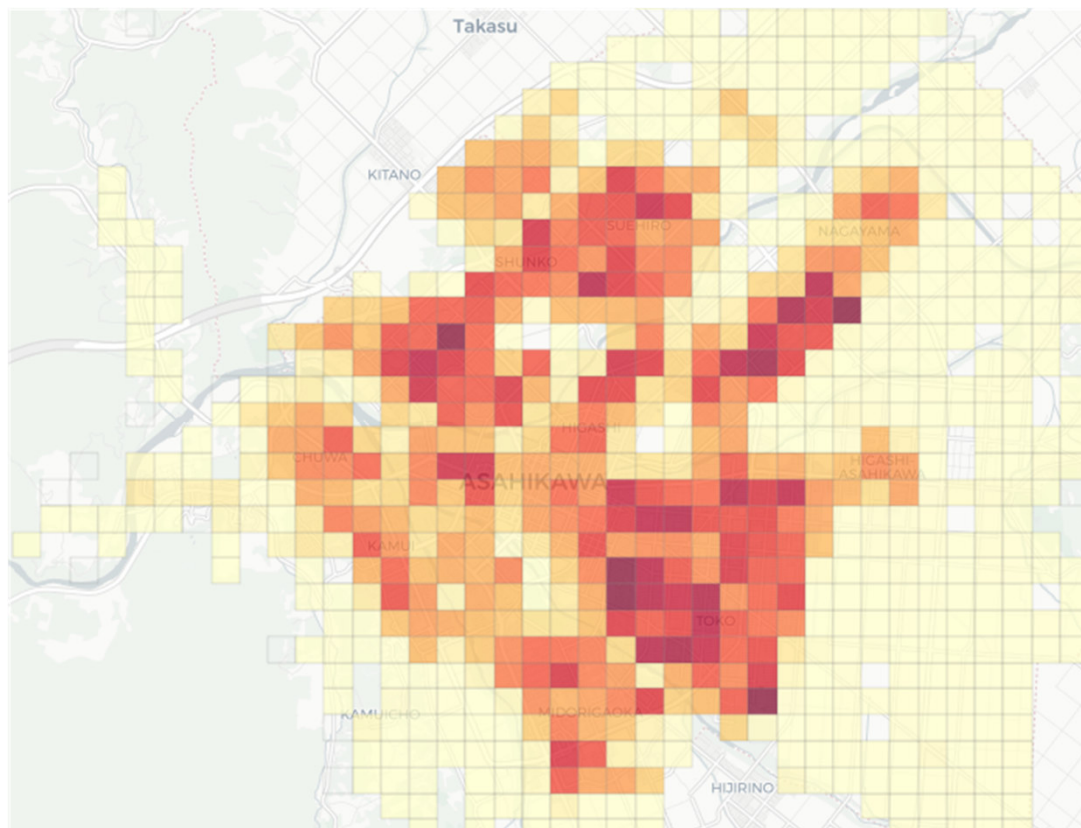
旭川市都市計画マスタープランの中間見直しについて



【人口の確認（令和17年推計値）】

平成27年 国勢調査ベース
総人口：285,138人

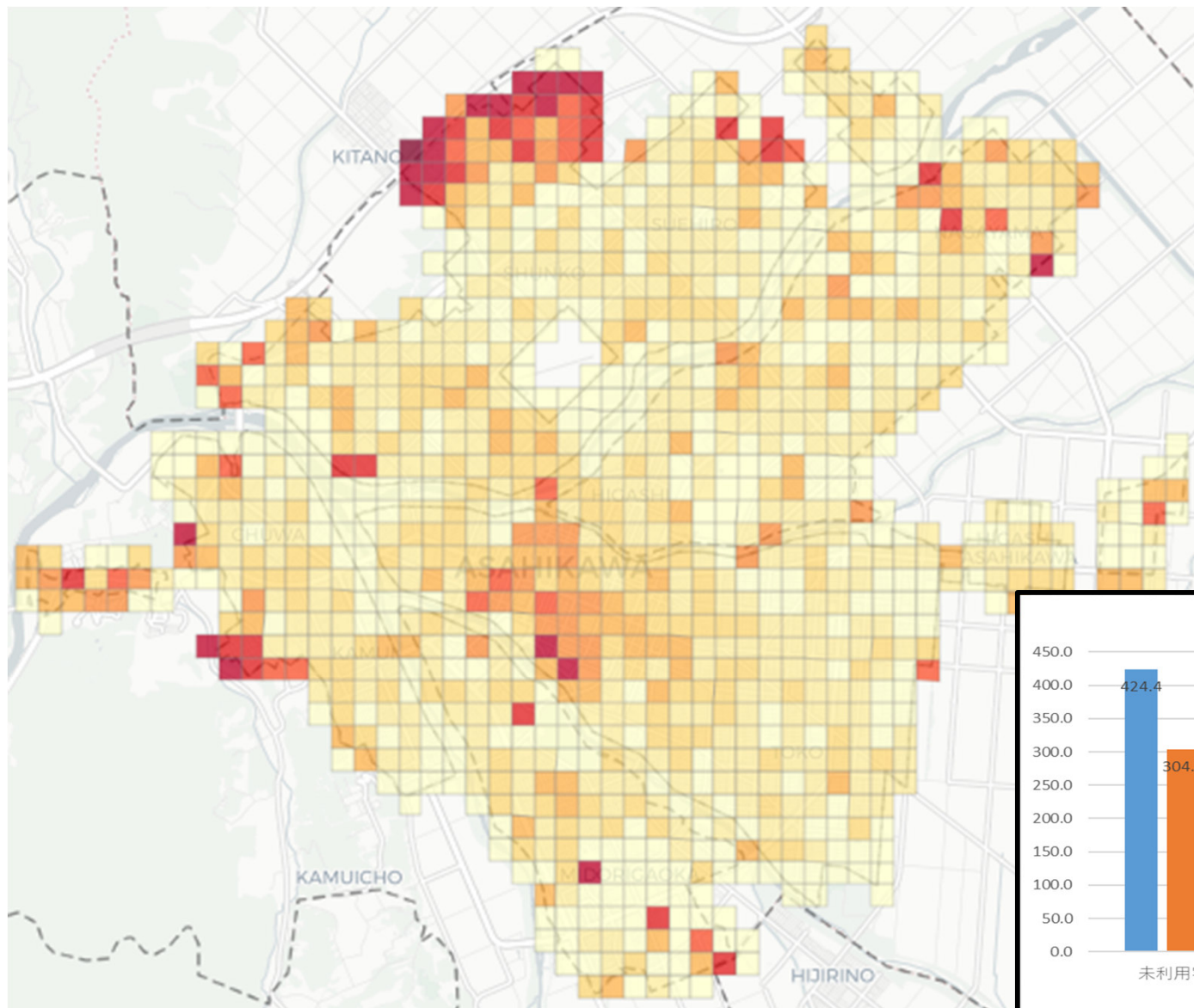
令和2年 国勢調査ベース
総人口：282,046人



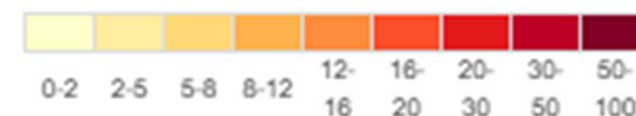
旭川市都市計画マスタープランの中間見直しについて



【土地・建物利用の確認（H28）】



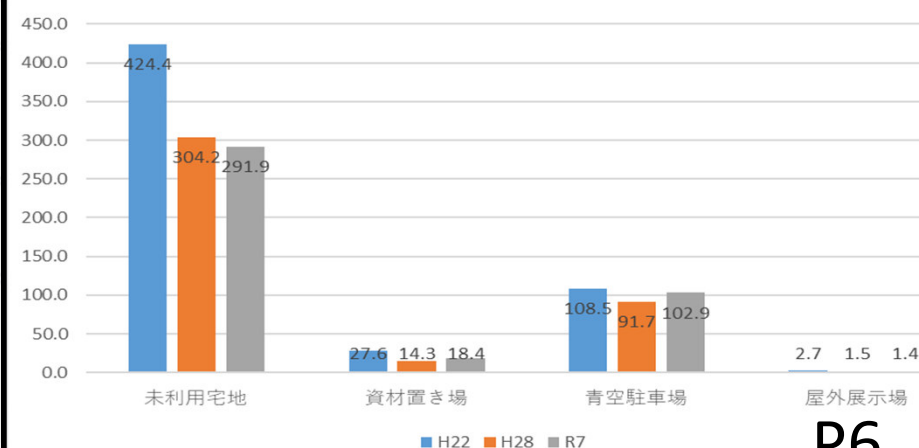
低未利用地割合（メッシュ内）



低未利用地割合 (%)

低未利用地 = 未利用宅地 + 資材置場 + 屋外展示場 + 青空駐車場

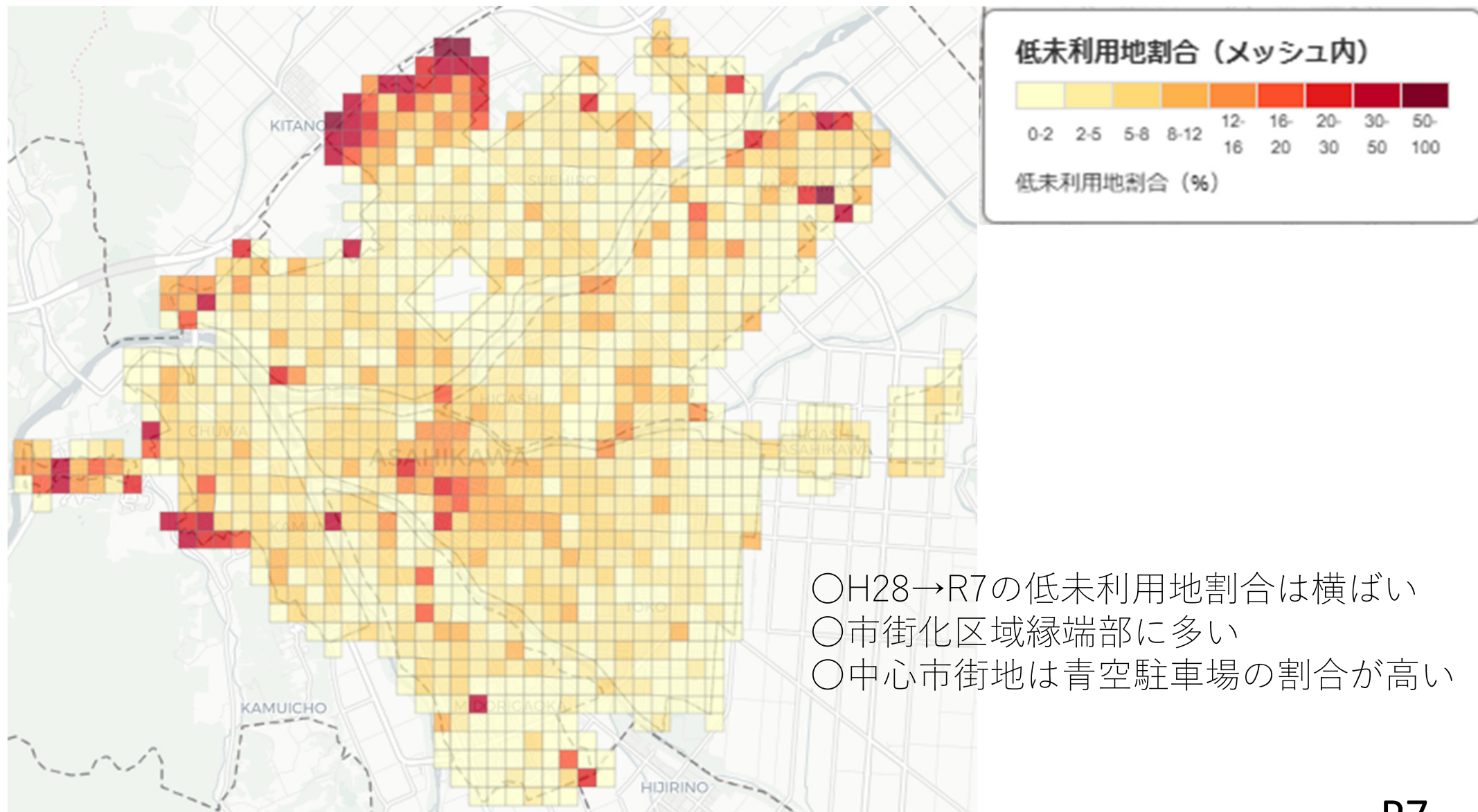
低未利用地の推移（種類別） 単位：ha



旭川市都市計画マスタープランの中間見直しについて

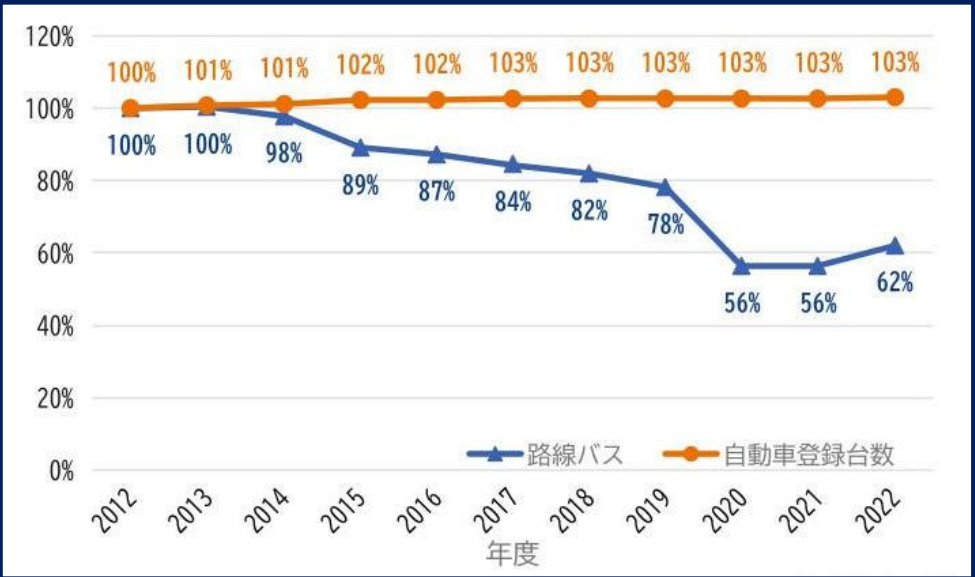
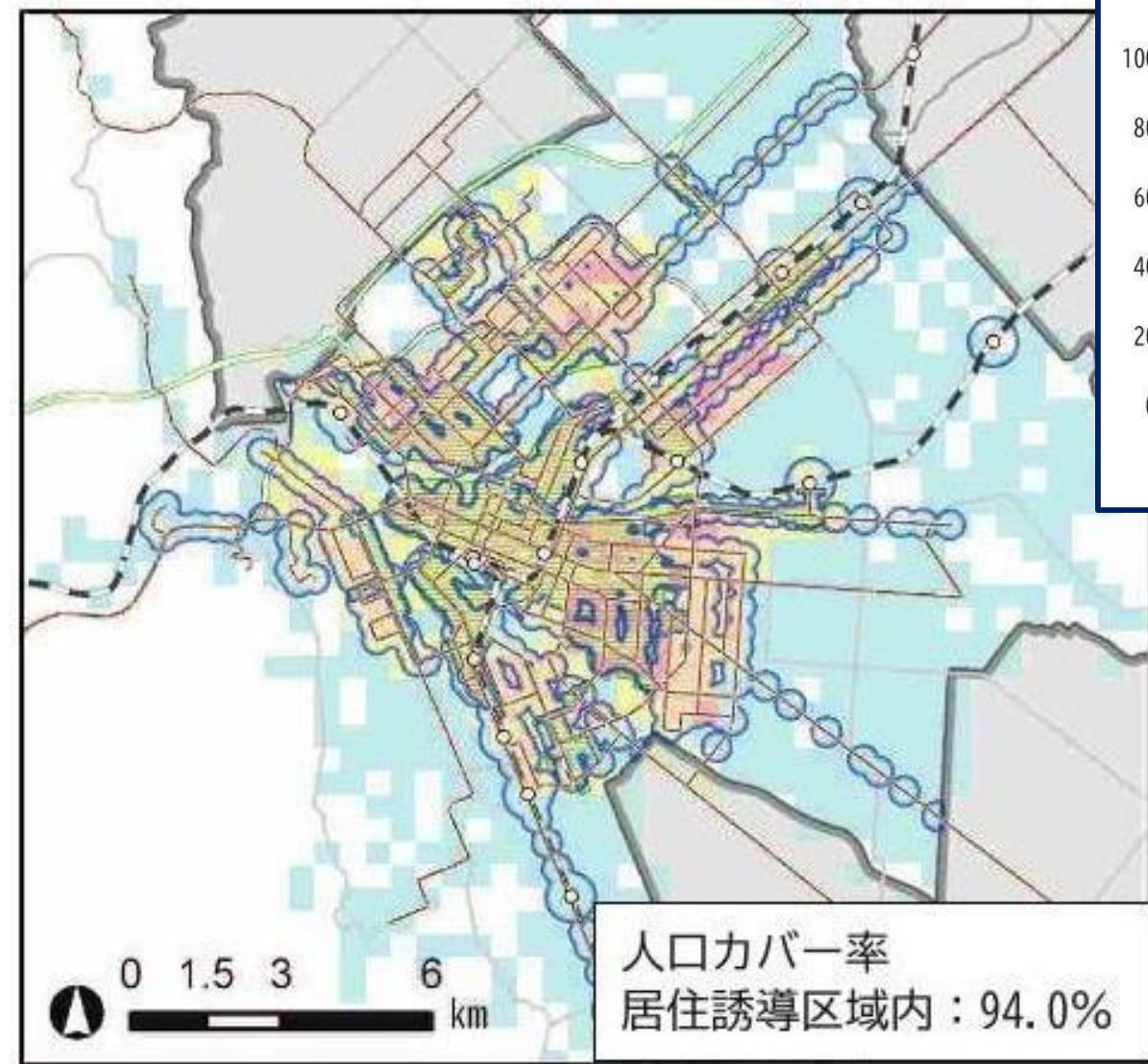


【土地・建物利用の確認（R7）】



旭川市都市計画マスタープランの中間見直しについて

【都市交通の確認】



※2012年度を100%とした路線バス利用者数の推移

指標 3-1		旭川市地域公共交通網形成計画 策定時の基準 [2017 年度]	現状 [2022 年度]	目標値 [2027 年度]
公共交通の 人口カバー率 の維持	市全域	82.6%	79.3%	79%以上
	居住誘導区域内	94.3%	94.0%	94%以上



※地域公共交通計画（令和6年5月）

旭川市都市計画マスタープランの中間見直しについて



【防災の確認】

○ハザードマップの更新

※防災これ一冊まとまっぷ（令和8年3月作成）抜粋

洪水ハザードマップが新しくなりました 内水ハザードマップを作成しました

👉 ここが変わった!

洪水ハザードマップ

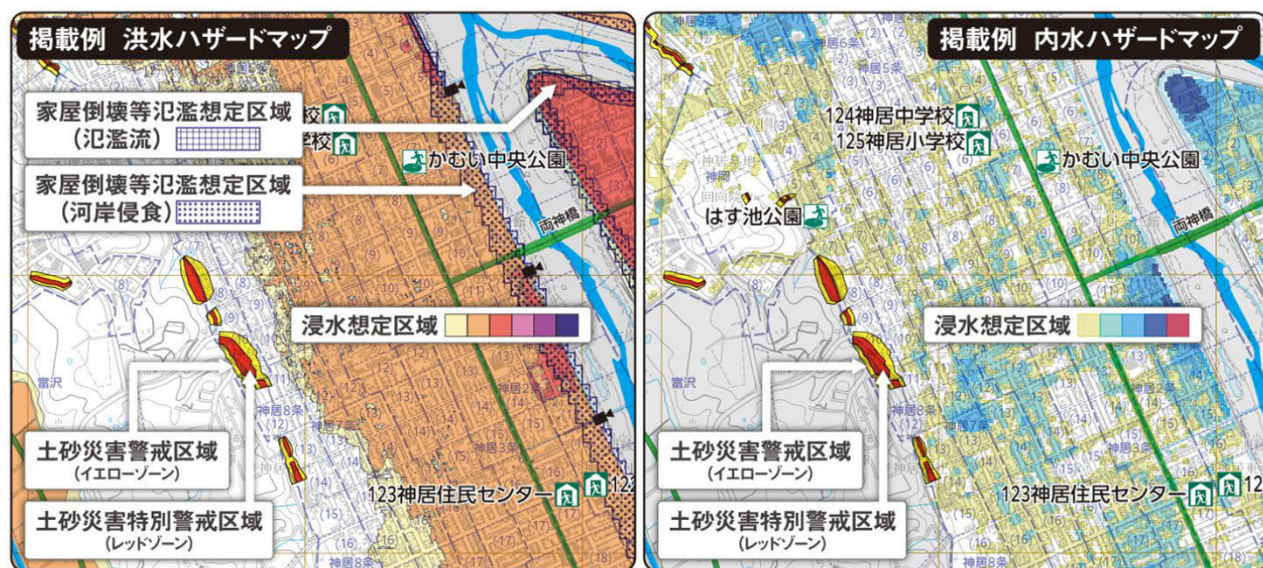
近年、気候変動により水害が激甚化・頻発化しており、ハザードマップ作成の対象となっていなかった中小河川の氾濫により、多くの浸水被害が発生しています。このことから38の中小河川の洪水浸水想定区域を反映させた新しい洪水ハザードマップを作成しました。

内水ハザードマップ

「まとまっぷ」では、内水氾濫による被害予測図と避難場所などの情報を地図上に表示した内水ハザードマップも載せています。内水氾濫についての詳しい情報は次のページを確認してください。

内水氾濫とは？

雨水を排水しきれずに下水道などから水があふれ浸水する現象のこと



旭川市都市計画マスタープランの中間見直しについて



【本市の現況を踏まえた都市整備の課題】

① 「コンパクト化」と「ネットワーク化」の推進

- ・ 北北海道の拠点都市としての高次都市機能の充実
- ・ 中心市街地の拠点機能の維持、充実
- ・ 地域コミュニティや生活利便施設の維持、充実
- ・ 公共交通の維持、充実

平成28年度改定時と
同様の課題である

② 経済活動の活性化につながる基盤づくり

- ・ 地域経済の活性化に向けた企業誘致などにおける多様なニーズへの対応
- ・ 農山村集落の地域コミュニティの維持、充実と優良農地の保全

③ 「造る」から「再構築・活用」への転換

- ・ 維持管理費・更新費の負担減に向けた、公共施設や道路、公園、下水道等の適正配置や長寿命化

④ 安全で豊かなライフスタイル実現への取組

- ・ 大規模自然災害を想定した災害に強いまちづくり
- ・ 水害や土砂災害、雪害等から市民の生命及び生活を守るための防災力向上
- ・ 地域環境を保全するための温室効果ガスの排出の抑制
- ・ 緑豊かなライフスタイルに向けた、効果的な緑の配置とネットワーク化
- ・ 生活環境の悪化に繋がる管理されない空き家への対策
- ・ 公共施設や公共交通などへのユニバーサルデザインの導入やバリアフリー化

旭川市都市計画マスタープランの中間見直しについて



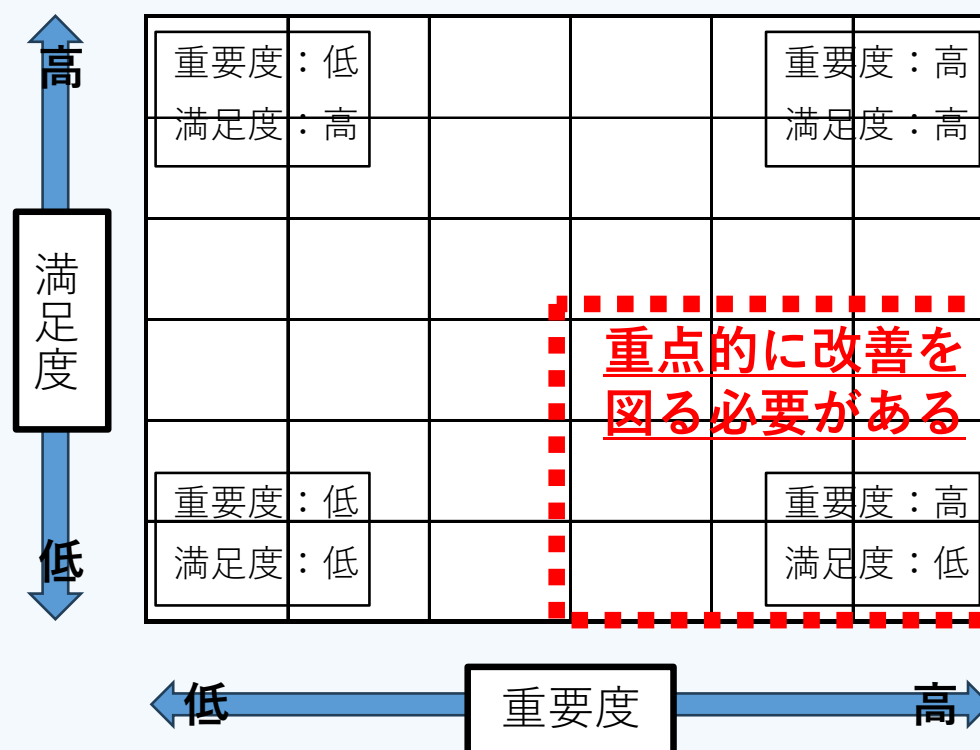
【市民アンケートによる都市構造の問題点の確認】

○市民アンケート概要

- ・ 調査目的：都市構造の問題点の確認
- ・ 調査手法：無作為抽出による3,000人へ送付及びwebによる自由回答
- ・ 調査項目：まちづくりに関する項目の重要度及び満足度
- ・ 評価方法：重要度と満足度を5段階評価でクロス集計分析

・ 調査項目案：

「土地利用」「公共交通」
「自然環境」「防災防犯」
「都市施設整備」「景観」
「住環境」「生活利便性」
「観光」



旭川市都市計画マスタープランの中間見直しについて



【都市計画マスタープラン改定スケジュール】

- 令和8年度 市の現況の確認、都市整備の課題整理、全体構想
 - 6月22日 都市計画審議会（見直しの考え方）
 - 8月下旬 都市計画審議会（序章素案・市民アンケート内容の確認）
 - 9～10月 市民アンケートによる課題の抽出
 - 2月 都市計画審議会（アンケート結果、全体構想素案）

- 令和9年度 地域別構想、計画改定
 - 6月 都市計画審議会（地域別構想素案）
 - 7～8月 まちづくり協議会との意見交換・アンケート
 - 10月 都市計画審議会（意見交換報告・計画素案）
 - 12～1月 パブリックコメント
 - 2月 都市計画審議会（パブコメ結果、計画案）
 - 3月 都市計画マスタープラン改定